



# 選抜高等学校野球大会 出場 下関国際高等学校 野球部

2018.3  
ぶち★まの語り  
さらり



▲センバツ大会選出の吉報を受け、監督を胸上げる野球部員

「それは人生も同じだと思います」

「朝から晩まで練習して、練習して、それでも結果が出ない、そんなこともあります。だからといって努力しないと当然結果は出ない。それは人生も同じだと思います」

選手たちが練習するグラウンドを訪れました。大きな声を出しながら、真剣なまなざしで練習する選手たち。監督や上級生から厳しい檄が飛び、緊張感にあふれています。夏の大会で公式戦から引退した3年生も練習に参加し、下級生を指導するのも同野球部の特徴です。平日は学校が終わって夕方

## 練習、そして練習

下関国際高等学校野球部が、第90回記念選抜高等学校野球大会へ出場します。昨夏は悲願の甲子園初出場を果たしましたが、「センバツ」への出場は今回が初。初戦で敗退した昨夏の甲子園大会や秋の中国地区大会準優勝の悔しさを胸に、厳しい練習に励んできました。

## 勝負の厳しさを学んでほしい

4時から夜9時まで、土・日曜日は朝7時から夜7時まで練習。休みは月曜日だけです。2000回のスイング、800メートル走を10本、ウエイトトレーニングなど、基礎的な練習も相当量をこなします。

野球部を率いる坂原秀尚監督に話を伺いました。プロで戦うにはセンスや才能が必要ですが、高校野球では、それを練習で補えると考えています」と監督。また、「野球を通じて、厳しい練習を通して、勝負の厳しさ、人生の厳しさを生徒たちには学んでほしいと思っています。朝から晩まで練習して、練習して、それでも結果が出ない、そんなこともあります。だからといって努力しないと当然結果は出ない。それは人生も同じだと思います」

「主将を務める濱松晴天選手は「昨年夏の甲子園や中国大会での敗戦は実力不足。能力を発揮する力が足りなかったと思います。自分たちの野球をしっかりとやって、まずは「勝りたい」と意気込みます。監督も選手も昨夏の大会への雪辱に燃えています。」

センバツ大会は3月23日から始まります。中国地区の代表、そして下関市の代表として戦う下関国際高等学校野球部。皆さんでしっかり応援しましょう！



▲坂原監督



▼濱松主将

## 勝ちにこだわっていききたい

センバツ大会への出場について、坂原監督は「昨年の夏は、甲子園出場という喜びが大きく、勝ちへのこだわりが薄かったように思います。今回はとにかく勝ちにこだわっていききたい。1度の勝利では満足したくないですね。優勝旗を持って帰るぐらいの気持ちで戦います」と話します。「中国地区の代表という、その責任は重いですが」

### 下関国際高等学校野球部

〒下関国際高等学校 事務室  
(☎083-256-2321)

●甲子園応援ツアーについて  
〒株式会社日本旅行 TIS 下関支店  
(☎083-223-1702)